血液内科を知りたい あなたに

名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学

教授 清井 仁

医局長 石川 裕一

病棟医長 寺倉 精太郎

外来医長 島田 和之

血液内科診療の面白さ

・赤血球の病気(種々の貧血)

診断

- ・白血球の病気(白血病、悪性リンパ腫)
- ・血小板の病気(ITP)
- ・凝固系の病気(血友病、vWD)

貧血、発熱、出血など日常臨床で遭遇する症状から 複数の検査を組み合わせて迅速に確定診断をつけていくこと

・多種多様な抗がん剤治療

治療

- ・先進的な分子標的薬
- ・他に類を見ない細胞・免疫療法
- ・造血幹細胞移植(骨髄、末梢血、臍帯血)

治療方針決定、治療、緩和まで 患者さんの人生の伴走者





名古屋大学 第一内科初代教授 第三代名古屋大学学長 勝沼精藏先生

名古屋大学

血液・腫瘍内科学教室

設立:1919年

本年で設立106年を迎える

関連施設 31施設

(日本血液学会認定研修施 20施設)

入局者数 男性 女性 平成27年度 6 8 2 平成28年度 9 3 平成29年度 5 平成30年度 6 0 令和元年度 5 4 1 令和2年度 6 11 令和3年度 3 4 令和4年度 令和5年度 4 令和6年度 3 5 合計 22 **70** 48

全国有数の血液内科入局者数

名古屋大学医学部附属病院 血液内科スタッフ紹介

清井 仁 教授

寺倉 精太郎 講師

石川 裕一 講師

島田 和之 講師

牛島 洋子 病院講師

葉名尻 良 助教

佐藤 貴彦 助教

古川 勝也 病院助教

(卒後臨床研修・キャリア形成支援センター)

輸血部

松下 正 教授

鈴木 伸明 講師

検査部

兼松 毅 病院助教

大学院生 17名

ベッドサイドからの疑問を自らの手で解明する

関連病院31施設をも含めた一体化した研究

異種移植マウスモデル(PDX) を用いた病態解明と治療開発







Cell Death Dis. 2023. Nat Commun. 2022.

白血病

FLT3遺伝子変異の発見から治療薬開発

分子層別化システム⇒国際的ガイドライン

新規薬剤・抗体療法の開発

微小環境を標的とする治療開発

新規化学療法薬・新規分子標的薬の治験

JCI Insight 2025.
Cell Stem Cell 2024.
Lancet Haematol. 2023.
Proc Natl Acad Sci U S A. 2022.
Blood 2022

リンパ腫

臓器指向性を基軸とした病態解明 CAFとエクソソームの病態研究 免疫療法・新規分子標的薬の開発

Cancer Sci. 2025.
Oncogene 2021.
Blood 2021.
Lancet Oncol. 2020.

移植・免疫細胞療法

新規CAR-T療法の開発 新規TCR-T療法の開発 GVHD制御、CTL療法の開発

J Immunother Cancer 2025. Nat Commun. 2024. Mol Cancer Ther. 2024 J Immunol. 2021.

大学院で病態・新規治療 に関わる基礎的・臨床的な研究を

造血器疾患に対する 臨床研究グループの中心を担う

成人白血病治療共同研究機構





Lymphoma Study Group: LSG

名古屋BMTグループ

(1974年 日本初の骨髄移植)

止血・血栓研究の拠点

臨床・研究と血液分野の 全てをリードする国内有数の施設

名古屋大学 血液内科でのキャリア



臨床的あるいは基礎的な研究を行うだけでなく、 それらを併せ持つPhysician-Scientistを育成 我々はリサーチマインドを持った血液内科医の 育成を目指し、皆様のキャリア形成をサポートします。

専門医取得、学位取得、海外・国内留学・・・



皆様からのご連絡をお待ちしております

https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hematology/

血液内科 医局長:石川 裕一 yishikaw@med.nagoya-u.ac.jp

